

つくる、見るって楽しい！

蒲郡市立大塚中学校

横田 美津子

「すごい！そっくりだ。」

美術の授業で3年生がつくった展示作品に1、2年生の生徒が集まっている。

またこの時期がやってきた。文化祭の作品展示だ。3年生の作品は、必ず後輩たちにも鑑賞してもらって、市の作品展に出すための投票を行い、出品するグループを決めている。

3年生美術の題材『食べ物そっくり王選手権』は、各4人でテーマを決めてグループ制作をしている。

あるグループがこんなテーマを掲げてアイデアを考えた。

『○○先生に食べさせたい』

寿司をメインにした定食で、三色団子がデザートについている。担任の好きな物を集めた、何ともうらやましい作品に仕上げようというものだ。

制作が始まり、まぐろの寿司をつくっていた生徒は、まぐろの筋をどうやって表現したらよいか悩んでいた。ある日、白の縫い糸を持ってきて、赤を練り込んだ粘土に、いねいに斜めに糸を埋め込んだことで、リアルなまぐろになった。また、吸い物を作っていた生徒は、透明な液体をどう表現しようか迷い、水糊を使

って具を浮かべることを思いついた。生徒の発想にはいつも驚かされる。

「これを表現するにはどうしたらよいか。」と相談されたとき、まずは、生徒と一緒に考えてみる。失敗が予想されても時間があれば、「まずはやってみよう。」と促してみる。

水糊を使った吸い物は、時間が経つと水が蒸発してしまつて、表面がカピカピに乾いてしまった。

「こんなふうになつちゃうんだね。」

「蒸発しない透明な液体つてないのかな。」やってみてわかることがある。そしてまた考える。この試行錯誤が楽しく、できたときの達成感は大きい。

相談の結果、水糊の代わりは、油がいいのではないかとという考えに至り、グリンに具を浮かべることで解決した。

文化祭の作品展示で、地域の方や先生たち、生徒たちが鑑賞をする。○○先生も自分がテーマになった作品を鑑賞しながら、うれしそうに生徒たちと談笑していた。

つくること、
見ること、
どちらも楽しい。これからも、美術の授業を通して、ただひたすらそのことを伝え続けたい。

